



鷹口傳書

四

7310  
552  
4





Handwritten notes in various styles, including vertical columns and a large block of text at the bottom right.



鷹江傳

一はーをうーい

一けーいーい

一とろーみーい

鷹江をうーい

大たりまえわす又せうせも  
あはとはーをこといあり

これいこうあ忍をうーい  
布こ張ひきくあくたふいよあふ  
布これ下にあふんをうーい



わが親とみこもとのちあはれ  
ておぼしめさるる形りもよとなく  
みこいあはれ

くろくはむきひてあつらひのり大層のふきふ  
うきうきあはれおちひてあつらひのりおぼしめさるる  
あり

たうきぬふとりの事大層にかさるへたうき  
ゆるふうてくひふぬさしめおぼしめさるる  
ありふらうわあはれと入くうりてまれまうか

くあはれかまをそとてたうきぬふとりの事  
てまうきとあはれあり甚長とすくはれとくひ  
はくはにさうりてみやあはれはにさうりてたあはれ

あはれとりの事大層にかさるへたうき  
あはれとりの事あはれとりの事あはれとりの事  
あはれとりの事あはれとりの事あはれとりの事

あはれとりの事あはれとりの事あはれとりの事  
あはれとりの事あはれとりの事あはれとりの事  
あはれとりの事あはれとりの事あはれとりの事



原はむらあり

一 日なれりといふは是の春夏よりなる人一死する

名を其海に流れて居るといふ

一 昔をわすれりといふは是の世を流るる事

といふ事なり世は又大小の世なり

一 山川のり変は是の世を流るる事なり

流るる事なり世は又大小の世なり

いふ事なり

一 世の并といふは是の世の小世にかりて

流るる世は又小世といふ事なり

世は又小世といふ事なり

世は又小世といふ事なり

世は又小世といふ事なり

世は又小世といふ事なり

世は又小世といふ事なり

世は又小世といふ事なり

世は又小世といふ事なり



時香乃と云く形うことそこそこかひひりて  
いぬまゝと入る浅い形り又響もをかへるとか  
くら本あり是をけしむるひぬる

- 一 朽へ系といふ変是のぬるき草なり小野鳥か  
られらると響ふ并ととりて鳥れおち草と知て  
おしむて草と鷹れ朽はりて阿ぶ家といふ  
一 ゆる記草といふ変是の鳥乃おち草れゆくと  
見く草乃とおくをこみさこを浅はるひん  
鳥と云ん時乃よりあり

- 一 ちりきろるといふ変是の草にあらるる鳥れ  
鷹も其草なりけり鳥と并るるといふなり  
一 ぬままといふ変是の大小の響よはるるを  
ちりけらるる鳥乃おち草なりよそをぬれ  
て立といふなり  
一 と并るるといふ変又と并るるといふ是が鳥れ  
立はるるてひんくるとはゆといふなり  
一 毛くちるといふ変是の鷹鳥にちるる人なり  
とりかう時捕るといふ物と一とふくまてして百は



くちかといふ

一 くらをといふ 又くらをといふ 毛ハ大御

くちかといふ 又くらをといふ 毛ハ大御

くちかといふ 又くらをといふ 毛ハ大御

一 厚りなといふ 毛ハ大御

毛ハ大御

毛ハ大御

一 けいせいの毛ハ大御

一 くらをといふ 毛ハ大御

くちかといふ

くちかといふ

くちかといふ

一 くらをといふ 毛ハ大御

くちかといふ

一 くらをといふ 毛ハ大御

くちかといふ

くちかといふ

一 くらをといふ 毛ハ大御



一 草にうぶとらとていふ変 毛ハ鬚れきりけく  
 毛ととらえびとて草にあまうとびけつらと  
 毛敷とらとていふりとりけあまうとびとら  
 儀とあす  
 一 井かひますといふりとり 毛ハ大乃ちりやう  
 一 くの付鷹こいけとりかてゆくとらと  
 形り  
 一 はまりといふ中 毛ハ流る連るといふと  
 回事形り

一 流れとらとていふ 毛ハ毛と見りてとらと  
 毛とらとていふりとりハ毛敷草と見たり  
 毛とらとていふり  
 一 毛とりとあつ家といふり 毛ハ流る連る  
 一 大乃せえられとていふりとりとあつ家といふり  
 一 物わりといふ事 毛ハ大乃の鬚にうぶとら  
 毛とらとていふり  
 一 毛とらとていふり 毛ハ鬚の乃とていふ  
 一 毛とらとていふり 毛ハ鬚の乃とていふ  
 一 毛とらとていふり 毛ハ鬚の乃とていふ  
 一 毛とらとていふり 毛ハ鬚の乃とていふ



しつうくまのくくろあり  
一とけん霧とくろり 毛ハ毛ト阿トモ家  
付霧とくろり見はせくもくろり  
あり

一山にすくろり 毛ハ霧トくろり  
れくろりとくろり切くろりくろり  
一く井けとくろり 毛ハ霧トくろり  
けくろりくろり

一見けく井とくろり 毛ハくろり  
くろりくろり 毛ハくろり  
くろりくろり

一霧ハ霧トくろり 毛ハ山トくろり  
毛ハ霧トくろり 毛ハ山トくろり  
一霧ハ霧トくろり 毛ハ山トくろり  
毛ハ霧トくろり 毛ハ山トくろり  
一霧ハ霧トくろり 毛ハ山トくろり  
毛ハ霧トくろり 毛ハ山トくろり



しそよまへ立のくよあり  
とてん鷲といふなり 毛ハ鳥ノ阿ノ世キ家  
付鷲とよとみろんは流をそよんらるといふ  
なり

一 山道すすこふ事 毛ハ鷲れなりしるを  
一 ねらるゆとよあり切らるよそんあり  
一 けり井けといふ変 毛ハ鷲れ解よあらま  
けり井一已キ家とよく  
一 目けら井といふ変 毛ハつれ乃だれ鷲れ

ありし方高とたふれあし流れ一のけり  
とよといふなり  
一 かりこら志といふ変 毛ハ鷲一なり  
毛ら物あり  
一 うさうねとらなり 毛ハ山めそ毛野とて  
毛風あつてよと高にあはすらとよと鷲れ  
れまといふなり 毛ハ大流流つてゆくと  
なり  
一 みくわといふなり 毛ハ木おとれとるを



一 此の如くは、  
一 ひまわりとて、  
一 何れも、  
一 此の如くは、

一 大抵、  
一 鷹より、  
一 とる、  
一 幸、  
一 あ、

一 一、  
一 一、  
一 一、  
一 一、  
一 一、  
一 一、  
一 一、  
一 一、  
一 一、  
一 一、



一 鷹よりまはるる鷹のついでに  
一 ひまわりとていふ鷹のついでに  
一 鷹のついでに鷹のついでに  
一 鷹のついでに鷹のついでに

一 鷹のついでに鷹のついでに  
一 鷹のついでに鷹のついでに  
一 鷹のついでに鷹のついでに  
一 鷹のついでに鷹のついでに  
一 鷹のついでに鷹のついでに

一 鷹のついでに鷹のついでに  
一 鷹のついでに鷹のついでに  
一 鷹のついでに鷹のついでに  
一 鷹のついでに鷹のついでに  
一 鷹のついでに鷹のついでに



一 鳥のいりあり

一 兼て水とらふ又 毛のひりなり 鶴のくま

くは付乃あるなり 一 毛のあんなはとほくは記

いんととりて鶴のかりやあり ちとひま

一 口はあつらひいりなり 又のあつらひいりなり

一 鶴とすゑくは付もあつらひのまじ 鷹

見落けてもいりなり

一 ちとひりなり 毛の鶴のくまはけ

ちとひりなり ちとひりなり ちとひりなり

一 ちとひりなり

一 ちとひりなり

一 ちとひりなり

一 ちとひりなり

一 ちとひりなり

一 右将左将とらふなり 毛の鶴のくまはけ

らす 鶴のくまはけなり ちとひりなり

一 鳥のくまはけなり ちとひりなり

一 ちとひりなり



よりして流るるより急あり

一ひとより二よりとよりなり 毛の毛枝一よりなる

とよりより二よりよりなるよりよりよりよりなり

一ひとよりより毛枝の心あり

一さうけよりより 毛の毛枝の心あり

毛の毛枝の心ありとよりよりよりよりよりより

毛の毛枝の心ありとよりよりよりよりよりより

毛の毛枝の心ありとよりよりよりよりよりより

一火うらんとよりより 毛の毛枝の心あり

毛の毛枝の心あり

一うさげよりより毛の毛枝の心あり

毛の毛枝の心あり

一毛の毛枝の心あり

一毛の毛枝の心あり

一毛の毛枝の心あり

一毛の毛枝の心あり

一毛の毛枝の心あり

一毛の毛枝の心あり



一 洗髪はくすくすといふはやくしめよといふは

かきよはかきよといふ

一 十のりといふは七のりといふは百のりといふは

一 一はよはよといふは

大巻の七七といふは

一 大巻の七七といふは

一 大巻の七七といふは

一 ひねりのきりきりといふは

とりて草のよよは

一 せきくしめといふは

うはくしめといふは

すきわくといふは

一 下巻といふは

たか巻といふは

一 巻といふは

一 中巻といふは

くまといふは

一 巻といふは



一 浅草寺にすしを賣るに似せしむるにせしむるに  
かきつるにせしむるに

一 十より上の大徳寺にせしむるにせしむるに  
一 下より上の大徳寺にせしむるに

一 大徳寺にせしむるにせしむるに  
大徳寺にせしむるに

少徳寺  
こむさ

一 ひねりのせしむるにせしむるに  
とりて草のよき徳寺にせしむるに

一 ふせくじまのせしむるにせしむるに  
うはくせを又徳寺にせしむるに

一 下徳寺にせしむるにせしむるに  
たふせれあるふ又徳寺にせしむるに

一 中より上の徳寺にせしむるにせしむるに  
くふとせしむるに

一 徳寺にせしむるにせしむるに



一 百歳をこらさず 毛の洗ひはなれり  
又いぢり事ありしよとて毛を洗はて毛を  
くささず

一 平ら髪との変 又いぢり事ありしよとて毛を洗は  
しきくせら付髪とよからふまふ付  
あり又いぢり事ありしよとて毛を洗は  
きくせら付髪とよからふまふ付

一 髪をこらさず 毛の洗ひはなれり  
又いぢり事ありしよとて毛を洗はて毛を  
くささず

一 髪をこらさず 毛の洗ひはなれり  
又いぢり事ありしよとて毛を洗はて毛を  
くささず

一 髪をこらさず 毛の洗ひはなれり  
又いぢり事ありしよとて毛を洗はて毛を  
くささず

一 髪をこらさず 毛の洗ひはなれり  
又いぢり事ありしよとて毛を洗はて毛を  
くささず



いりあり

鷹 註名

白鷹 あつた

兄鷹 せう

若鷹 わかし

雀鷹 はみ

兄鶴 こり

利野 さしん

隼 はやぶさ

鶺鴒 あいついせん

雀鶺 あいついせん

白大鷹 ましろたか

首鷹 くびたか

松鶴鷹 かきわつたか

鳥屋鶴 とりやわづ

一 鷹乃也... 鷹乃也... 鷹乃也...

事なり人乃... 事なり人乃... 事なり人乃...

らやとゆい... らやとゆい... らやとゆい...

一 うらら... 一 うらら... 一 うらら...

一 鷹乃鳥... 一 鷹乃鳥... 一 鷹乃鳥...

付まの林... 付まの林... 付まの林...

枝より上... 枝より上... 枝より上...

あてう... あてう... あてう...

上乃枝... 上乃枝... 上乃枝...



但少とすうらわし海付いあんとり一そくめん  
とりこくせよ地ぬくそまのいひけう  
かりあてはくあうり又あんとりいひけう  
はくもわさより乃代はけき又女れあうり  
あきほくろいあんとりとみうちよあけう  
あうそまのうらさあう枝れはけきあの  
ふれまうりあういほりけらあのまうりあうり  
あう

一 大鷹とまあうこく日十<sup>と</sup>ゆり但あうとりとすこくぬ

ま守い守し 急袋のうけをわけとあいの守  
一 とい鷹のたをいんあすひころと二すこく大  
うらあうりあうりあをい大鷹の武たあすをい鷹  
れあういこく人ますこ

一 すのりあれあをい守七か唐こ一すこくすこく  
ますせらあういあうりま七かこうり 但し  
まうい大鷹あうりまあうりまあうり  
一 とい鷹のたをい大鷹の武たあすをい鷹  
のあういあうり



一 宿とてうりほちく付はたつことよせし中  
こふるすちてとんりせしことあつたはちの付  
有るこゝに世共よよせし一たつてとせし  
しとてしとてし

一 宿とてうりほちく付はたつことよせし中  
こふるすちてとんりせしことあつたはちの付  
有るこゝに世共よよせし一たつてとせし  
しとてしとてし

一 宿とてうりほちく付はたつことよせし中  
こふるすちてとんりせしことあつたはちの付  
有るこゝに世共よよせし一たつてとせし  
しとてしとてし



